

Catch up **滋賀医大** : **滋賀医大ニュースレター**
第7号

著者	滋賀医科大学
発行年	2009-07-01
URL	http://hdl.handle.net/10422/9099

滋賀医大ニュースレター

Catch Up 滋賀医大

2009.07.01 平成 21 年 第 7 号



平成 21 年度「地域中核産学官連携拠点」に採択！

H21.06.12

文部科学省・経済産業省が共同で実施する平成 21 年度「産学官連携拠点」に、滋賀県・立命館大学・しが医工連携ものづくりネットワークの複数企業と共に提案を行った結果、当該提案が「地域中核産学官連携拠点：しが医工連携ものづくり産学官連携拠点」に採択されました。

本拠点を中心に、「マイクロ体内ロボット」や「オンサイト診療システム」の開発等に取り組みます。

オンサイト診療システムとは？

オンサイト診療システムとは、「悪性腫瘍の発見と患部の特定」、「悪性度の測定・判断」、「腫瘍の切除・摘出」等、一連の治療を手術現場（オンサイト）で迅速に行えるシステムです。

患者さんの身体的負担の軽減と術後の QOL（生活の質）の向上を実現することができます。

「腫瘍の切除・摘出」には、マイクロ体内ロボット（体腔鏡手術ロボット）を用います。従来の体腔鏡手術では、届かなかった部位にできた腫瘍も摘出することが可能になります。

平成 21 年度 滋賀医科大学入学式を挙行

H21.04.07



207 名の新入生を迎え入れました

平成 21 年度入学式が、4 月 7 日（火）に本学体育館で挙行され、医学科学生 94 名、看護学科学生 70 名、大学院生（博士課程）30 名、大学院生（修士課程）13 名の新入生を迎え入れました。

入学式では、馬場学長から告辞があり、「絶えず考え、苦心しているところにはじめて幸運の女神が訪れるので

あると思います。努力せずには、決して女神に会うことはありません。新入生諸君は、授業はもちろんのこと、多くの人との出会いや、読書とおして多様で柔軟な発想をもち、諦めることなく努力を重ねる強い精神力を養って下さい。」と激励しました。

名誉教授称号授与式を執り行いました

H21.05.14

4月22日に開催した教育研究評議会において、次の3名に対し名誉教授の称号を授与することが決定されました。

- ・上島 弘嗣氏（元社会医学講座教授）
- ・今本 喜久子氏（元基礎看護学講座教授）
- ・山路 昭氏（元薬剤部教授）

5月14日には、本学中会議室において称号授与式を執り行いました。学長からお一人ずつに証状が手渡され、感謝の言葉が述べられました。



授与式での記念撮影

附属病院で「看護の日」イベントを開催

H21.05.14



健康チェックは大盛況でした

5月12日は看護の日です。本学附属病院でも14日に看護の日イベントを開催しました。

午前中には、附属病院ロビーにて、血圧測定、骨密度測定、体組成測定、血管年齢測定などの健康チェックを実施しました。大変多くの方に参加いただき、順番待ちの列ができるほどでした。

午後からは「アンサンブル YUU」の皆さんによる合唱コンサートが開かれました。入院患者さんをはじめ、たくさんの方々が来場され、みなさん、美し歌声に聴き入っておられました。

第34回浜松医科大学との交流会を行いました

H21.05.15

去る5月15・16日の2日間、本学において浜松医科大学との交流会を実施しました。

本交流会は、学生・大学間の交流を深めるための貴重な機会として、例年5月上旬に相互の大学を会場に実施しています。

初日はバレーボール、テニスなどの各クラブが熱戦を展開、また両校の

管弦楽団が共に演奏を行うなどの交流を行いました。

2日目には野球、バスケットボールなどの対戦が行われ、結果、7勝5敗1分けで、本学が見事勝利しました。

これで、通算成績は本学が16勝13敗5引き分けとなりました。



バレーボール部の熱戦

第35回国立大学法人動物実験施設協議会を開催

H21.05.22



本学 動物生命科学研究センター
鳥居センター長の挨拶

去る5月21日・22日の両日、本学が当番校となり、琵琶湖ホテルにおいて、第35回国立大学法人動物実験施設協議会(会長校:東北大学)を開催しました。

動物実験施設を有する国立大学等から60機関、189名の出席があり、1日目に幹事会及びサテライトミーティングを、2日目に施設長・教員・事務職員懇談会、技術職員懇談会及

び総会をそれぞれ開催し、各会場において熱心な討議が行われました。

また、文部科学省研究振興局より、永田 勝 学術機関課課長補佐及び川上一郎 ライフサイエンス課ゲノム研究企画調整官らのご出席を得て、平成21年度補正予算の概要等についてご説明いただきました。

第32回解剖体納骨慰霊法要を執り行いました

H21.05.30

5月30日(土)午前10時30分から比叡山延暦寺阿弥陀堂において、ご遺族、ご来賓、しゃくなげ会会員および学生、教職員の約400名が参列し第32回解剖体納骨慰霊法要が厳粛に執り行われ、故人のご冥福をお祈りしました。

今回お祀りした40名の御霊及びご遺族に対し、馬場学長より感謝の意が述べられるとともに、学生に対し、「医学教育のために自らの身体を捧げて下さった御霊のことをいつまでも忘れることなく、信頼される医師や人々の幸せに貢献する医学研究者として“一隅を照らす人”に育ってくださることを期待しております。」と述べられました。

続いて、学生代表 中村圭吾 君が、今後とも生命に対する敬意の念を忘れることなく、故人の御遺志に恥じることがない医師となるべく生涯努力しつづけることをご霊前に誓いました。

法要終了後、引き続き文部科学大臣の感謝状がご遺族代表に贈呈されるとともに、学生の手でご遺骨が返還されました。

また、午後からは比叡山横川の大学霊安墓地において、ご遺族、ご来賓、学生等の参列の下に、納骨式が執り行われ、分骨いただいたご遺骨が納骨堂に安置されました。



堂内の慰霊法要の様子



学生自身の手でご遺族への返骨、納骨を行いました

本学独自の「滋賀医科大学奨学基金」を授与

H21.06.05



授与の様子

本学では、「滋賀医科大学奨学基金」による奨学生として、毎年、医学科の2年～6年、看護学科の2年～4年の各学年から成績優秀な者を1名採用し、奨学生として月額5万円を1年間給付することとしています。

このたび、平成21年度の奨学生を以下のとおり決定し、授与式を行いました。

- ・医学科第2学年 岡田 香澄 君
- ・医学科第3学年 大竹 要生 君
- ・医学科第4学年 大庭 章史 君
- ・医学科第5学年 田中 仁美 君
- ・医学科第6学年 澤村 由子 君
- ・看護学科第2学年 谷川 温子 君
- ・看護学科第3学年 深草 由佳 君
- ・看護学科第4学年 川勝 裕絵 君

高校生記者(滋賀県高校文化連盟新聞部会)が本学を取材

H21.06.05

6月5日(金)、滋賀県高校文化連盟新聞部会の研修の一環として、県内各高校より、高校生記者20名が本学を取材に訪れました。

高校生からの「新型インフルエンザはどのようなものなのか?」、「医師・看護師不足の実態や対応策について」等の質問に対し、「病理学的な見方からのインフルエンザの種類や対応策」、

「医師・看護師数を増やす必要性や本学の取組について」等、服部副学長が具体的な例を交えながら説明を行い、和やかな雰囲気の中で、約2時間の取材が実施されました。

高校生記者は取材の内容を持ち帰り、引き続き実施される研修の場で、新聞記事を仕上げたそうです。



取材に応じる服部副学長



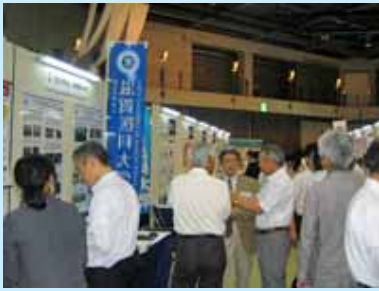
全員で記念撮影



メモをとる高校生記者

「産学官連携推進会議」に出展

H21.06.21



展示会場の様子

内閣府、総務省、文部科学省等が主催する「第8回産学官連携推進会議」(メインテーマ:オープンイノベーション型の産学官連携による新たな戦略)が、6月20日から21日まで、国立京都国際会館で行われました。

本学からは森川茂廣教授が、MR医学総合研究センターにおける研究成果である「リアルタイム断層画像が切り拓く新しい外科治療」として「1. オープンMRの概要と肝腫瘍マイクロ波

治療 2. 穿刺支援ロボットの臨床応用」の発表をパネル及びロボットの展示により行い来場者の注目を浴びました。

また、本学・滋賀県・立命館大学等の共同提案である「しが医工連携ものづくり産学官連携拠点」は、当該会議において文部科学省と経済産業省が共同実施する「産学官連携拠点」として採択通知書を受け取りました。

分子神経科学研究センター国際シンポジウムを開催

H21.06.24

本学の分子神経科学研究センターでは、沖縄国際大学、カナダ・オタワ大学、ハインリヒ・ハイネ大学などと、"Global Network for Modeling Brain Reonstricion" という国際共同研究チームを組織することになりました。

今回、研究メンバーのオタワ大学の Professor William Staines が、本学を訪問する予定にあわせて、国際シンポジウムを開催いたしました。多数の方々のご参加をいただき、ありがとうございました。



本学 木村 宏 教授と
Professor William Staines

附属病院でモニターズクラブモニター会議を開催

H21.06.24



会議終了後、病院屋上で
記念撮影

附属病院では、6月24日(水)に病院モニターズクラブのモニターをお迎えして、モニター会議を開催しました。

藤野副病院長の進行により柏木病院長のあいさつで会議が始まり、外科学講座谷教授から「がん治療の最前線について」と題して本院でのがん診療の取り組みについて、映像を交えて紹介がありました。

その後、熊澤ボランティア連絡協議会会長からのあいさつに引き続き、

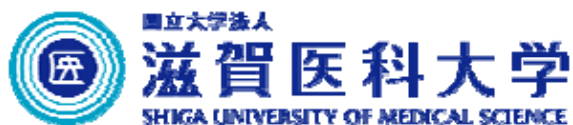
桑村モニター代表から今後の活動内容と協力依頼の説明がなされました。

附属病院では、平成18年度にモニターズクラブを設置し、病院の利用者をはじめとする院外者の意見、提言等を病院運営に反映する活動を行っています。今後も、これらの取り組みを通じて、より信頼される病院を目指してまいります。

平成 21 年 7 月 ~ 9 月の行事予定

- 7月26日 公開講座「小児アレルギー夏期ゼミナール」
- 7月30日 医学科オープンキャンパス
- 8月6日 看護学科オープンキャンパス
- 8月29日 市民公開講座～肝臓がんにならないために～
- 9月20日 脳神経外科学会 近畿支部市民公開講座

大学概要



所在地：
〒520-2192
滋賀県大津市瀬田月輪町

開学：
1974年10月1日

活動内容：
教育・研究・診療

役員：
学長 馬場忠雄
理事（教育等） 服部隆則
理事（医療等） 柏木厚典
理事（経営等） 村山典久
理事（総務等） 脇坂信夫



担当

企画調整室

TEL: 077-548-2012
FAX: 077-543-8659

本学 Web サイト URL:
<http://www.shiga-med.ac.jp/>

E-MAIL:
hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

報道された滋賀医科大学 (平成 21 年 4 月～平成 21 年 6 月)

教育関係

2009/06/21	日経	住民を支える手、知恵を絞る(里親制度)
2009/06/16	読売	滋賀医科大学管弦楽団第 50 回定期演奏会
2009/06/06	京都	新聞作成の手法学ぶ
2009/05/21	朝日	平成 21 年度関西学生新人レガッタ
2009/05/16	京都	“湖国”の医大生スポーツで熱戦(浜医戦)
2009/04/29	朝日	朝日レガッタで勝負

研究関係

2009/06/27	京都	産学官連携プロジェクトで懇談 嘉田知事、雇用創出も期待
2009/06/16	日経	早期発見に法医学の目
2009/06/13	各紙(2紙)	産学官連携拠点「しが医工」
2009/06/12	科学新聞	心筋便塞増明か
2009/05/09	京都	立石科学技術財団助成(埜田先生)
2009/04/30	京都	心筋便塞増 初の裏付け
2009/04/25	四国	ワサビ臭の火災警報器を寄贈

病院関係

2009/05/21	各紙(2紙)	県内初確認 6市を対策地域に
2009/05/21	各紙(2紙)	新型インフル感染予防本格化 中止、延期、影響次々に
2009/05/20	京都	滋賀医大病院は発熱外来未設置 県が発表訂正
2009/05/19	京都	発熱外来 14 病院態勢整う
2009/05/19	毎日	新型インフルエンザ予防徹底「まず電話相談を」
2009/05/15	京都	安全医療へ患者と協働(坂口先生)
2009/05/13	京都	看護週間にあわせ あすイベント
2009/04/29	各紙(2紙)	新型インフル 21 病院 「発熱外来」を設置へ
2009/04/25	毎日	内臓脂肪の増加が元凶
2009/04/16	朝日	大学病院 NICU など 220 床を追加へ
2009/04/16	京都	守れ地域医療 第 4 部 在宅療養で家庭医重要
2009/04/14	京都	守れ地域医療 第 4 部 住民参加で自立策を
2009/04/12	朝日	夜間 草津の小児救急医療センター訪ねる
2009/04/10	各紙(4紙)	患者 31 人分のメモリー紛失
2009/04/10	中日	患者らの情報紛失
2009/04/06	産経	効果的な運動療法

社会連携関係

2009/06/23	中日	小児アレルギー講座受講者募る
2009/06/23	読売	「こころの健康フェスタ 2009」
2009/06/16	産経	公開講座開催案内「教養講座」
2009/06/16	読売	第 8 回滋賀医科大学教養講座
2009/06/04	各紙(2紙)	第 3 回睡眠懇話会
2009/04/16	毎日	滋賀医大で寄付講座
2009/04/07	各紙(3紙)	がん専門医育成 県、滋賀医大に寄付講座
2009/04/07	中日	がん医療の研究講座